

『こちらムシムシ新聞社』

ギタイは天敵がつくる?
三輪 一雄/作・絵 偕成社 481



「ギタイ」とは、天敵に見つからないよう、自然のものにそっくりな姿になることです。ギタイの匠、アケビコノハを取材する七星さんは、取材のあいだ、様々な姿の虫に出会います。彼らが枝や葉、鳥のウンチ、フクロウにまで姿を変えられるのは、いったいどうしてなのでしょう?

『かいちゅうでんとう』

みやこし あきこ/さく 福音館書店 E



スイッチ カチ。かいちゅうでんとうのひかりは、いろいろな おおきさや かたちにかわる。へやはいつもとちがってみえるし、ひかりをゆらすとにんぎょうのかけがおどるよ。ぼくのかげも きょじんになっちゃう。かいちゅうでんとうをもって、たんけんしよう。



『まほうのハッピー・ハロウィン』

石津 ちひろ/文 岡田 千晶/絵 プロンズ新社 E1



きょうは ハロウィンまつり。みのりは、ママからもらった“ゆうきのはね”をつけて、いとこのあきととでかけます。あきとはおまつりがはじめて。ふあんでいっぱい、げんきがなさそうです。だけど、こんやはまほうのよる。みのりはすてきなことをおもいつきました。

『かみなのに』

たにうち つねお/さく 大日本図書 754



はねる!のびる!こわい!? いつもはペラペラのかみなのに、おもいものをささえたり、はさみできれないほどかたくなったりもするよ。きって、おって、かさねて、あそんでみよう。いろいろなおどろきがみつかるよ。



『魔女がいっぱい』

ロアルド・ダール/著 ケンティン・ブレイク/絵 清水 達也, 鶴見 敏/訳 評論社 933

この世界にはほんものの魔女がいる。魔女の話や見分け方を おばあちゃんから聞いたんだ。ある日魔女たちの恐ろしい計画を聞いてしまったぼくは、魔女に見つかり ネズミに変えられてしまった。だけどぼくは おばあちゃんとふたりで、この計画を止めようって決めたんだ。



『モンスター・ホテルでおめでとう』

柏葉 幸子/作 高畠 純/絵 小峰書店 913

まちはずれのふるいビル。ここはモンスターたちがとまるモンスターホテルです。あるよる、にんげんのタイチがホテルにまよいこんでしまいました。その日は、ちょうどデモンじいさんのたんじょう日。パーティにあつまったモンスターたちはにんげんがいることにおどろきます。



『パンプキン』

ケン・ロビンズ/写真&文 千葉 茂樹/訳 BL出版 E0



春に種をまいて、畑でぐんぐんそだったパンプキン。しゅうかくされたら、かおの形にくりぬいておばけランタンにへんしん。さてハロウィンの季節におなじみのおばけランタンは、どうやって作られるのかな?



『こわくない こわくない』

内田 麟太郎/ぶん 大島 妙子/え 童心社 E9

まーくんは このごろ なにをいってもはんた いばかり。「ねんねしよ」といわれても「ねんねしない」。すやすやねむってゆめのなかでおばけに「こわいか こわいか」ときかれてもやっぱり「こわくない こわくない」。まーくんがこわがらないのでおばけはもっとこわいすがたにへんしんします。

